

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市泉中央老人福祉センター	
2 指定管理者	宮城県高齢者生活協同組合	
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 19,100人(前年度比 140.6%) 令和4年度 13,587人 令和3年度 11,548人	
	《事業》 市内に住所を有する60歳以上の高齢者に対し、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 28,611千円 (28,091千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (523千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 令和6年2月～3月に利用者アンケートを実施した。また、サークル代表者会議、主催事業での参加者アンケートを実施した。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知等の意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築等の取り組みを行っている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な対応と分かりやすい説明を心がけている。また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケート、管理運営委員会における意見交換等により利用者のニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。 また、利用者の代表者で構成する委員会を開催し、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりを推進しており、利用者意見を取り入れた企画の立案を行っている。	9/9

三 評価総括

《指定管理者（宮城県高齢者生活協同組合）による自己評価》
<p>当該年度は新型コロナウイルス感染症が5類移行となるが、感染対策は継続し消毒、換気と利用者への感染対策継続を呼びかけご理解とご協力をいただいた。利用者の多くはセンターの感染対策に安心して利用できるとの評価をいただきほとんどの利用者が率先してマスク着用にご協力いただいた。</p> <p>看護師の利用者への積極的な健康チェックの取り組みもコロナ禍から続けており相談件数は対前年度比144%の増加となった。看護師は相談室から出てロビーで利用者の対応をしているが今ではなくてはならない存在となり様々な相談ができる場として多くの利用者が看護師との信頼関係が構築された。この取り組みから入浴事故（湯あたりなど）が激減した。看護師のアドバイスを聞き入れた利用者が短時間入浴、シャワー浴など健康に配慮した入浴をした効果が表れたと考えられる。</p> <p>「元気高齢者の力を地域に」をテーマに取り組むボランティアは活動4年目を迎え活動から生まれた「手芸」「芸能」「環境」「カフェ」がそれぞれの持ち味を発揮し地域の要望が増えている。</p> <p>来館者を増やす取り組みでは、フレイル予防、認知症の理解、住宅セミナー、防犯教室、スマホ講習など利用者の身近な問題を取り上げた行事や、名作映画上映会、季節行事、お祭り、ロビーイベントなどの実施、趣味の教室では着物リメイク、庭木剪定、郷土史探訪、ピラティス&筋膜リリースなど利用者のニーズに即した教室を開催しこれらの取り組みが利用者増に繋がったと考えられる。</p> <p>これらの事業を通して一人ひとりの居場所となる施設を目指し、各種アンケート結果や利用団体代表者会議、サポート会など利用者の声に応えながら利用者拡大を図っていくことをスタッフ全員が共有し取り組むことが重要であるとする。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和5年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後も、感染対策は継続し消毒、換気と利用者への感染対策を継続し、安心して利用できるよう取り組んでいることから、リスク管理が適切になされている。</p> <p>看護師の利用者への積極的な健康チェックの取り組みにより相談件数は対前年度比144%の増加となっている。看護師は相談室から出てロビーで利用者の対応するなど様々な相談ができるよう取り組んでいる点は評価できる。</p> <p>フレイル予防、認知症への理解、住宅セミナー、防犯教室、スマホ講習など高齢者の生活の質向上に向けた行事や、名作映画上映会、季節行事、お祭り、ロビーイベントなどの実施、趣味の教室では着物リメイク、庭木剪定、郷土史探訪、ピラティス&筋膜リリースなど利用者のニーズに即した教室を開催するなど利用者を増やすための事業が行われている。</p> <p>一人ひとりの居場所となる施設を目指し、利用者の声に応えながら利用者拡大を図っていくことをスタッフ全員が共有しサービスを提供している。</p> <p>以上のことから、総合的に高く評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

© 評価担当課(施設所管課):健康福祉局保険高齢部高齢企画課